

# おだわらしさいがいひなん 小田原市災害避難カード

○日本は地震が多い国です

○大きな地震の後は何度も揺れ（余震）があります

○大きな地震が起きると、津波がくることがあります



発行：小田原市 市民部 人権・男女共同参画課  
小田原市荻窪300番地  
電話 (0465) 33-1725

## 地震が起きたら！

1. 落ち着いて身の安全を確保  
大きな揺れを感じたら、丈夫な机やテーブルの下に身を隠し、クッションなどが近くにあれば頭を守りましょう。

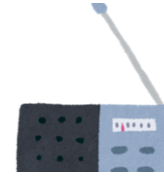


2. 揺れが落ち着いたらすばやく火の始末  
ガス器具やストーブなどの火を消しましょう。ガスは元栓を締め、電気はブレーカーを落としましょう。

3. 逃げ口の確保  
ドアが開かなくなってしまうことがあります。玄関や部屋のドア、窓などを開け、いつでも逃げられるようにしましょう。

4. 外へ出るときはあわてずに  
外ではガラスや看板が落ちてくる可能性があります。あわてず状況を判断しましょう。

5. 正しい情報入手  
ラジオやテレビ報道などで正しい情報入手しましょう。市の防災行政無線やFMおだわら(78.7MHz)、JCN小田原チャンネルなどの災害情報に注意しましょう。



6. 冷静に避難  
揺れが収まっても、延焼や建物倒壊の危険性を感じた時には、冷静に判断して避難しましょう。車は使わず徒歩で避難するようにしましょう。

## 津波から身を守る

○海岸近くで強い地震や、長い時間の揺れを感じたら、すぐに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。

○小さな揺れでも大きな津波になることがあるので、決して油断してはいけません。

○津波は繰り返し襲ってきます。荷物を取りに戻ったり、様子を見るために海岸へ近づいてはいけません。

○津波の伝わる速さは時速数百kmにもなる場合があり、津波が見えてからでは逃げきれません。



## 家族の安否確認

災害時は、電話がつかないに＜くなります。大きな災害が発生したときに、自身の安否情報を登録したり、家族や友人などの安否情報を確認することができる「災害用伝言ダイヤル」や「災害用伝言板」などの活用方法を家族で決めておきましょう。

ON T T  
災害用伝言板「web1711」  
災害用伝言ダイヤル「1711」

○携帯電話会社各社「災害用伝言板」  
「災害用音声お届けサービス」

## 平常時の備え

○家族会議を開きましょう。  
1. 一人ひとりの役割を決めておきましょう。  
2. 避難場所や避難経路を確認しておきましょう。  
3. 災害時の連絡方法を決めておきましょう。  
4. 屋外、屋内の危険箇所をチェックし、家具などは固定しておきましょう。  
5. 非常持出品の準備と確認しておきましょう。  
6. 防災用具や応急手当の方法を確認しておきましょう。



市地理情報システム(Navi-O)でも場所を確認できます。  
<http://www2.wagamachi-guide.com/navi-odawara/top/index.asp>

## 3. 津波一時避難施設

津波を伴う地震が発生した場合に、津波から一時的に避難するための施設です。市と協定を結んだ民間施設(津波避難ビル)のほか、公共施設を指定してあります。

## 小田原市の避難場所の種類

①一時避難場所 ②広域避難所の順に避難します。  
1. 一時避難場所 (地域の自治会長さんに場所を聞いたりください)  
あらかじめ自治会ごとに決めています。  
2. 広域避難所 (お住まいの小中学校区と同じです) 市内の小中学校(25校)を広域避難所としていて、多くの負傷者が出た場合は、仮設救護所も開設されます。



## 非常持出品

### 【一次持出品】(最初に持ち出すもの)

- ヘルメット
- 救急医薬品・常備薬  
(ばんそうこう、きず薬、包帯、持病の薬など)
- 非常食(缶詰・かんぱんなど火を通さなくても食べられるもの)
- 飲料水(ペットボトル)
- 缶切り、栓抜き ○紙食器
- 貴重品  
お金、預金通帳、印鑑、免許証、パスポート、在留カード、保険証など
- 携帯ラジオ・懐中電灯(予備の電池)
- タオル ○着るもの
- ティッシュ ○軍手
- ロープ ○マッチ、ライター

### 【二次持出品】(災害復旧までの数日間を自活できるように、最低でも3日分を用意しておきましょう。)

- 食料(米や簡単な調理で食べられるもの)
- 飲料水(一人一日3ℓが目安。ポリタンクなどに保存しておく。)
- 燃料(卓上コンロ、固形燃料など)



## 災害時の情報入手方法

正しい情報を入力しましょう。  
間違った情報や噂話に注意しましょう。

- 市防災行政無線 ○市ホームページ
- ツイッター(小田原市政情報 @Odawara\_City)
- FMおだわら 78.7MHz
- テレビ放送(JCN小田原・テレビ神奈川のデータ放送)

○市防災メール  
あらかじめ登録をした携帯電話へ情報を配信します。  
次のアドレスから登録してください。  
<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/m mz/>

○緊急速報メールなど  
避難勧告の発令など緊急度の高い情報を、市内に存在する携帯電話(ドコモ、AU、ソフトバンクの対応機種のみ)に一斉送信します。

○災害時外国人住民支援のページ  
(神奈川県ホームページ)  
災害時には、県災害対策本部等から発せられる情報を多言語・やさしい日本語で発信します。  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f417431/>

○INFO KANAGAWA  
(公財)かながわ国際交流財団  
神奈川県内のお知らせを月4回程度、多言語でメール配信するサービスです。(無料)  
災害時にも、情報が提供されます。  
次の登録フォームから登録してください。  
【スマートフォン・PC】  
[http://www.k-i-a.or.jp/shuppan/info\\_kanagawa\\_smart.html](http://www.k-i-a.or.jp/shuppan/info_kanagawa_smart.html)  
【携帯電話】  
[http://www.k-i-a.or.jp/shuppan/info\\_kanagawa\\_mobile.html](http://www.k-i-a.or.jp/shuppan/info_kanagawa_mobile.html)

## 会話カード

日本語がうまく話せない場合、このカードを日本語の話せる人に見せてください。

### お願い

このカードを見せられた方は、できるだけ手助けをしてくださるようお願いいたします。

### 1. 「何が起っているのですか？」

地震 火事 津波 洪水 事故

### 2. 「〇〇を呼んでください。」

救急車 消防車 警察

### 3. 「〇〇はどこにありますか？」

食べ物 飲み水 トイレ 電話

### 4. 「〇〇に連れて行ってください。」

一時避難場所 広域避難所

津波一時避難施設 市役所 駅

病院 警察 銀行 郵便局

### 5. 「〇〇語を話せる人はいませんか？」

英語 中国語 韓国・朝鮮語

スペイン語 ポルトガル語

## 避難カード

### 【自分のこと】

名前

住所

電話

生年月日

血液型 男・女

国籍

話す言葉

大使館の電話番号

近くの避難場所

【家族のこと】

名前

電話

【緊急連絡先(親戚、知人等)】

名前

電話